



栃尾美術館25周年記念特別展

Beauty of Japanese Art Sword

日本刀の美 IV

日本美術刀剣保存協会長岡支部会員愛刀展

会期延長 7月26日[日]まで

「御大典衛府太刀拵」(右上)
「刀/銘『村正』」(右下)
「太刀/銘『天田昭次作之』『柳村仙寿刻』」(左)

開館時間：午前9時～午後5時（観覧券の発券は午後4時30分まで）月曜休館（ただし5月4日は開館）

観覧料：一般400円（300円）、高・大学生200円（150円）、中学生以下無料 ※（ ）内は、20名以上の団体料金

主催：長岡市教育委員会・長岡市 主管：長岡市栃尾美術館 協力：日本美術刀剣保存協会長岡支部

後援：新潟日報社、読売新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、長岡新聞社、栃尾タイムス社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCT、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7

長岡市栃尾美術館

NAGAOKA CITY TOCHIO ART MUSEUM

〒940-0237 新潟県長岡市上の原町1-13 TEL:0258-53-6300 FAX:0258-53-6370

http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/?page_id=135

1-13,Uenohara-machi,Nagaoka,Niigata,940-0237,JAPAN



栃尾美術館25周年記念特別展

Beauty of Japanese Art Sword

日本刀の美 IV

日本美術刀剣保存協会長岡支部会員愛刀展
令和2年4月25日[土] ▶ 6月28日[日]



「朱漆塗頭形兜」
(与板藩家中伝来)



「金装横綱太刀拵」(朝日嶽鶴之助所用)

日本美術刀剣保存協会長岡支部会員の愛刀を中心に展示する本展は、平成20年から開催し、このたび第4回目を迎えます。今回は鎌倉初期の「古波平」と伝わる太刀から鎌倉時代の京都で活躍した「二字国俊」、妖刀伝説で名高い「村正」やその弟子で名槍「蜻蛉切」の作者とされる「正真」の槍、越後の出身で幕末に活躍した「栗原信秀」、長岡ゆかりの「兼宗」や「水順子正兼」、現代刀では新発田市出身の人間国宝「天田昭次」の太刀、幕末から明治にかけて活躍した越後村上出身で庄内藩酒井家お抱えの力士、「朝日嶽鶴之助」が使用した「横綱太刀拵」などをご覧頂きます。また昨年、天皇陛下ご即位に因み、大正天皇御大礼の際に使用された「御大典衛府太刀拵」も併せて展示します。

本展を通して、日本刀をさまざまな視点からご覧いただき、日本の伝統文化への理解を深めるとともに、美術作品としての日本刀の魅力を存分にご堪能ください。



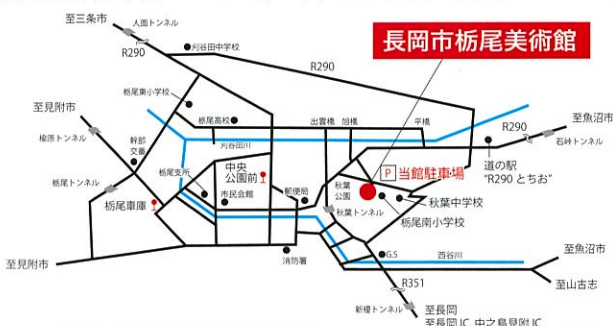
「剣／銘『天田昭次作』」



「葵紋金具大小拵」
(水戸徳川家伝来)

アクセス

- J R 長岡駅大手口 1 番線から見附経由栃尾車庫前行バス60分または、同駅東口 4 番線から新榎トンネル経由栃尾車庫前行バス45分
「中央公園前」下車、徒歩15分または終点「栃尾車庫前」下車、タクシーで5分
- J R 長岡駅東口からタクシーで20分
- 関越自動車道長岡I.Cから40分 北陸自動車道中之島見附I.Cから30分



長岡市栃尾美術館

NAGAOKA CITY TOCHIO ART MUSEUM

〒940-0237 新潟県長岡市上の原町1-13

TEL:0258-53-6300 FAX:0258-53-6370

http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/?page_id=135
1-13,Uenohara-machi,Nagaoka,Niigata,940-0237,JAPAN



次回の展覧会 「開館25年のあゆみ展」
令和2年7月14日(火)～9月6日(日)